



芳工連だより '15/07

第133号

□ 発行 芳賀町工業団地連絡協議会

□ 栃木県芳賀郡芳賀町芳賀台 98

□ TEL 028(677)5033

□ <http://www.hokoren.com>

□ E-Mail : information@hokoren.com

□ 編集責任者 七井 真人

■環境整備部会

6月18日に第1回環境整備部会を12社12名の参加により開催しました。あいにく小雨が時々降る不安定な雲行きでしたので、会議を先行し平成27年度上半期の事業内容を決定しました。

会議終了後、雨が上がりましたので参加メンバーは工業団地管理センターの花壇にペゴニアの苗を受け付けました。

彩り豊かな花が管理センターを訪れる皆様を和ませてくれることと思います。

正木部会長と阿部副部会長が事務局長とともに、工業団地内の環境パトロールを実施したところ、街路樹のカシが歩道に下枝を伸ばし、歩行者や自転車を運転する方の障害になっていましたので、さっそく道路管理者へ処理をお願いしました。

第2回クリーン作戦は7月23日(木)、第3回クリーン作戦は10月22日(木)に実施することを決定しました。



■交通防犯部会

6月23日に第1回交通防犯部会を12社13名の参加により開催しました。

西東部会長は、交通事故の減少に繋がる効果的な活動となるよう、事業内容の一部見直しを行った。

交通安全運動及び交通渋滞対策は各事業所単位でも必要だが、組織として警察や行政への働き掛けも大切なので、清原工業団地と交通渋滞対策に関する協議を過日はじめて行った。今後も部会員の皆様のご協力をお願いしたい、と挨拶で述べました。

協議により、交通安全講習会を8月6日(木)午前10時開催、次回の部会を9月17日(木)午前10時から開催することを決定しました。

西東部会長は、(株)本田技術研究所様が取り組んでいる交通渋滞対策の現状と今後の計画について説明しました。また、4月に実施した真岡警察署長への信号機設置に関する陳情の説明をしたほか、芳賀台交差点の西進車線を右折する矢印青信号を今年度中に設置することを真岡警察署から説明があった旨の情報を伝えました。



■安全衛生部会

6月23日に12社12名の参加により第1回安全衛生部会を開催しました。

稲森部会長は、4月1日付けで三重県鈴鹿市から異動して来たのでよろしくお願いします、と挨拶しました。

協議については、7月29日（水）開催の第2回普通救命講習会の内容、11月13日（金）に危険予知訓練研修会を開催することを決定しました。また、親子交通安全教室についても熱心に議論しました。

また、昨年初めて開催した危険予知訓練研修会の効果について話し合ったところ、研修に参加した部会員から、研修を機会に毎日指差し呼称を実践したことで、安全性が向上し併せて不良製品が減少した、との報告がありました。今年度の危険予知訓練研修会実施にあたっては、昨年度の受講者にもコーディネーターをお願いすることになりました。



■総務企画部会

6月24日に9社9名の参加により第1回総務企画部会を開催しました。中山部会長の議事進行で事業の開催日及び内容を協議しました。

第50回ゴルフ大会を7月11日（土）、第33回ボウリング大会は9月の水曜日で予約状況を確認して期日を決定、部会情報交換会は交通防犯部会と合同開催することを決定しました。

新規事業である人材育成研修は、より多くの会員企業様に芳工連事業参画のメリットを感じていただける内容で実施することになりました。

会員企業の皆様にご協力をいただきまして、相互の親睦を図るとともに企業活動の円滑化に寄与できるよう事業内容を充実してまいります。会員企業様におかれましては各事業に積極的な参加をお願いします。



■工業団地で初の消防訓練

芳賀町消防団と連携した火災消火訓練

6月14日 午前6時から（株）リブドゥコーポレーション様のご協力をいただき、敷地内で芳賀町消防団と自衛消防隊の連携による火災消火訓練を実施しました。

この消火訓練は、立地企業と芳賀町消防団との連携が求められていることから、芳賀町消防団からの要請により実施したものです。町消防団活動に対する理解を深めるとともに、防火・消火への意識を高め適切な初動体制を執る訓練です。



早朝の訓練でしたが、芳工連から小川会長ほか役員や企業代表者 14 名が出席しました。午前 6 時の火災通報で真岡消防署芳賀分署の消防タンク車、芳賀町消防団 11 台の消防ポンプ車などが、(株)リブドゥコーポレーションの敷地等に集合し一斉放水が行われました。

(株)リブドゥコーポレーション自衛消防隊が消防ポンプ車をいち早く出動し放水したほか、建物に設置された消火栓からの放水も的確かつ正確な動きで行われました。普段の訓練の成果が如何なく発揮され、非常時の対応も円滑にできると思われる迅速な行動でした。

見学した芳工連の皆様は、消防団の統率のとれた素早い行動と、ホース中継による消火活動に感心していました。また、酒井和夫消防団長から訓練内容の説明が逐一ありましたので、訓練のポイントを理解することができました。

工業団地に立地する企業にとって、安全に対する不断の意識づけと緊急時の対応が重要であることから、本番さながらの消火訓練の見学は大変意義のあるものでした。



■ 団管連理事会開催

6 月 17 日に栃木県工業団地管理連絡協議会の理事会が宇都宮市内で開催され、県内 8 工業団地管理団体代表者と栃木県産業労働観光部長ほか県幹部の出席がありました。

芳工連からは小川会長と事務局長七井が出席しました。

来賓の県産業労働観光部荒川政利部長は、地域創生ということで栃木県の総合戦略をどのように策定するか課題となっているが、県は企業誘致に確り取組み、進出企業に定着していただき、県内中小企業に成長してもらう、この 3 本の柱を地域産業プランの重点に位置づける。皆さまのご意見を産業プランに反映して、他県との差別化を図りながら成長に結びつけたい。また、2 年後に技能五輪が栃木県で開催されることになった。「ものづくり県とちぎ県」というキャッチフレーズを掲げているので、栃木県全体の活性化になるよう御支援を賜りたい。と挨拶で述べています。

藤井昌一理事長が議長に就き、平成 26 年度の事業並びに収支決算の報告、平成 27 年度事業計画(案)並びに収支予算(案)が上程され、全議案とも承認・可決されました。

その他で、県企業立地補助金制度、技能五輪、LRT 研究会中間報告に関する概要説明がありました。

理事会終了後に開催された懇親会は、一部の工業団地で役員または事務局長の変更がありましたので、事業内容等に関する情報交換が活発でした。和やかな雰囲気の中、楽しい歓談で意義ある懇親会となりました。



■全国安全週間について

1) 全国安全週間説明会に参加

「危険見つけてみんなで改善 意識高めて安全職場」をスローガンに7月1日から7日まで全国安全週間が実施されることから、6月11日に真岡市内で説明会が開催されました。

主催者である真岡労働基準協会の日産自動車(株)栃木工場長橋本会長代理の田中課長が、本日180余の会社から参加をいただいた。昭和3年から実施されてきた全国安全週間は中断することなく今年88回目を迎えた。残念ながら管内の昨年の労働災害は163件と、高止まりの傾向が続いている。目指すところは労災ゼロであり、この機会を捉えて労災ゼロに向けた取り組みをお願いしたい、と挨拶しました。

真岡労働基準監督署高橋拓署長は、全国の労働災害の現状については、長期的に減少傾向にあり、死亡労働災害は昭和36年の6,712人をピークとして50有余年を経て平成26年は1,057人まで減少した。これは88回となる労働安全週間の活動に象徴される。労働安全活動に終わりはないということを表している。毎日の連続した活動が重要となる。

最近では身近で大きな災害が起きていないことから、若い方は特に、安全が軽んじられる傾向が散見される。6月が準備期間、7月1日から1週間が全国安全週間です。普段から実施している安全活動の総点検をお願いしたい。

ここ数年は、災害の型が変化して転倒災害が全国で22%を占めている。墜落の17%、挟まれ・巻き込まれの12%を上回っている。また、死亡災害は依然として墜落・転落がトップ、管内でも1月から建設業で高所墜落・転落が増加傾向にある。全国安全週間をとおして管内の労働災害がなくなるよう祈念する、と挨拶しました。

労基署の渡邊労災・安衛課長が、安全週間を契機に実施要綱に沿って、それぞれの職場が準備を整えたうえで、労働災害防止の重要性を認識し、安全活動の着実な実行を図っていただきたい旨の説明をしました。

労基署の檜山安全専門官が、管内の死亡災害は昭和51年に22件あったが平成26年は3件であった。平成26年の管内の労働災害を見ると死傷者は163人、うち死亡が3人、前年に対して死亡者は2人増加した。事業種別では保健衛生業が8人で、前年比7人増、率にして700%増加した。これは社会福祉施設における介護等の転倒災害や介護中の腰痛などである。

傷病別では骨折が85件で52%を占めている。また、事故の型・起因物の発生状況を見ると転倒が39件で24%を占めている旨の説明をしました。

交通労働災害防止の観点から、真岡警察署交通課長鬼丸警部による「管内の交通事故発生状況について」と題する講演がありました。その概要は次のようなものでした。

平成26年は、全国で交通死亡者数が4,113人、1日で11人、2時間で1人の計算となる。栃木県の死亡者数は102人で前年と比較して1人増加した。全国的には年々減少している。



真岡署管内の交通事故発生件数は 287 件で、発生件数及び死傷者数とも減少した。管内では 5 人が死亡（真岡市 4 人、芳賀町 1 人）した。今年 は 6 月 7 日までに死者数が 4 人で前年同期と比較し 2 人増加している。

平成 26 年に管内で起きた人身事故の受理件数は 287 件（怪我のない事故は約 3,000 件）である。交通事故原因の第 1 位は追突事故の 107 件で全体の 1/3 を占める。最も多い原因は、携帯電話（スマホ）使用中の事故が多い。通話中であっても持っていれば違反となる。車間距離を保つことが大切である。

2 位は出会い頭の事故 86 件である。今年になって、出会い頭の事故による死亡者は 3 人である。一昨年はこれが事故原因の第 1 位だった。

芳賀型事故と言われる見通しの良い交差点で事故が発生している。管内では特にこの割合が高い。1 位と 2 位で全体の 7 割を占める。見通しの良い交差点で発生する事故原因の一つはボンヤリとした漫然運転である。

見通しの悪い交差点では、自転車を跳ねる事故が多いので、一時停止ラインでは確り止まり、注意して発進することで自転車を跳ねる事故を回避してほしい。

高齢者の夜間横断中の重傷・死亡事故が多発しているので、ハイビームライトを使用し、小まめにロービームライトに切り替える運転が求められることから、会社内での周知をお願いしたい。



2) 労働災害防止団体等連絡会議に参加

6 月 18 日に真岡市内で管内の建設業、運輸業、木材業、プレス業、建築業、ゴルフ業等の中小企業及び工業団地安全衛生部門担当者等の団体代表者を対象として、全国安全週間に前に労働災害防止に係る取り組みの徹底を図る目的で会議が開催されました。

芳工連からは安全衛生部会稲森部会長と事務局長七井が出席しました。

労基署の各担当課長及び専門官から次のような説明がありました。



- 1 労働安全衛生法に基づき、労働者数 50 人未満の事業所・労働者にとっては、地域産業保健センターにおいて健康診断結果の指導を無料で受けられるので活用していただきたい。
- 2 労働災害の種類では、全国でも管内においても転倒災害が最も多くなっている。滑り、つまずき、踏み外し等の危険を回避することが大切になる。
- 3 熱中症が多くなる時季を迎えるので、チェックリストを活用して自主点検をしていただきたい。
- 4 平成 27 年 12 月 1 日施行される改正労働安全衛生法でストレスチェックと面接指導の実施等が義務付けられた。ストレスチェック調査票は、「仕事のストレス要因」、「心身のストレス反応」及び「周囲のサポート」の 3 領域を含めた内容です。

真岡労働基準協会の上野専務理事から、平成 26 年度真岡地区産業安全衛生大会収支決算について説明があり、全員の賛成で承認されました。また、今年度の真岡地区労働安全衛生大会は 11 月 17 日（火）に開催することを決定しました。

労働災害防止団体の各代表者が、前年度及び本年度の活動について説明しました。稲森安全衛生部会長は、芳工連では普通救命講習会を年5回開催し、昨年度は延べ75社124名が受講した。また、危険予知訓練（KYT）研修を昨年度に初めて開催した。5社22名の受講者はKYT基礎4ラウンド法によるチーム討論、発表、記述を通して危険要因の捉え方と表現法などを学ぶことができた。さらに、安全活動事例発表会を開催し、会員企業の中から活動事例を発表いただき併せて真岡労働基準監督署長さんに講評と講話をお願いした。

今年度は、昨年度と同様の事業を計画しているが、さらに会員企業の安全衛生向上に資するよう事業内容の充実を図りたい、と説明しました。

■芳賀東小学校3年生が施設見学

6月25日に芳賀東小学校3年生61名が、工業団地や管理センターに関して資料を活用し調査表現する社会科学習で、芳賀工業団地管理センターにやって来ました。

工業団地造成の時期、工業団地の広さ、企業数、働く人数、工業団地にある会社がどのような仕事をしているか、また工業団地管理センターの仕事について事務局長がご説明しました。

素直で礼儀正しい子供たちは、元気よく挨拶し、説明を熱心に聴き取っていました。確りとメモを執っていたので驚きました。

この見学で興味を抱いたことを家庭でも話題にもらい、芳賀町の産業について知識を深めて欲しいと思います。



【6月の実績】

- 3日 芳賀町観光協会総会
- 4日 清原工業団地交通対策協議会
- 5日 真岡地区暴力団追放対策協議会総会
- 11日 全国労働安全集会説明会
- 14日 工業団地内消防消火訓練
- 17日 団管連理事会
- 18日 第1回環境整備部会
- 18日 管内労働災害防止団体等連絡会議
- 23日 第1回交通防犯部会
- 23日 第1回安全衛生部会
- 24日 第1回総務企画部会
- 24日 資源ごみ回収日

【7月の予定】

- 2日 ロマン花火実行委員会
- 3日 第1回芳工連役員会
- 3日 正副部会長情報交換会
- 11日 第50回ゴルフ大会
- 16日 管内優良事業場見学研修会
- 22日 鬼怒工業用水協議会
- 22日 資源ごみ回収日
- 23日 第2回クリーン作戦
- 29日 普通救命講習会